

進藤惣治 (SHINDO, Soji)

ユニット長

- 1963 秋田県生まれ
- 1986 北海道大学農学部農業工学科 卒業
農林水産省 入省
- 2014 農研機構 農村工学研究所
農村基盤研究部門 上席研究員
- 2016 農地基盤工学研究領域 用水管理ユニット長



エジプトのテレビ局からインタビューを受ける
(エジプト・ドリーム TV「10PM」より)

研究者の横顔

<土地改良事業の現場で>

農水省に入り最初の現場は霞ヶ浦用水で、南椎尾調整池(つくし湖)の建設を担当しました。地震多発地帯であったため、学識経験者の方々からアドバイスをいただきつつ、基礎処理や盛土工事において、様々な工夫をしたことが思い出されます。完成から20年以上経過し、数多くの地震にも耐え、景色に溶け込み風格を増した姿を見ると誇らしく思います。



研修生を前で南椎尾調整池について説明

<海外の現場で>

ケニアに3年、エジプトに3年10ヵ月駐在したほか、国内でも国際協力機構(JICA)の本部や国際会議の事務局などの海外業務に従事しました。

エジプトでは、2008年から12年までJICAプロジェクトのリーダーとしてプロジェクトを統括。途中、エジプト革命(アラブの春)に巻き込まれながらも最後までやり遂げました。プロジェクトでの活動内容は、以下のサイトでご確認ください。

<https://www.jica.go.jp/project/egypt/0702252/>



エジプト・プロジェクトのワークショップでプロジェクトのスタッフと記念撮影(2012年3月、矢印が進藤)

<研究の最前線で>

農林水産省入省後、本省(9.5年)、地方農政局(9.5年)、海外業務(9年+α)、研究(3年)と様々な業務を経験してきました。土地改良事業の現場での問題解決、設計基準の策定、海外での技術協力の現場で研究者の皆様にはいろいろとお世話になってきました。今度は、研究者の立場で、担い手への農地の集積や経営の大規模化など急速な変化が進む農業の現場で、未来を見据えた新たな技術開発や農業用水利用のあり方を提言していきたいと思えます。あわせて、これまでの経験を踏まえ、行政と研究の橋渡しをしていこうと思っています。



ワークショップの研修で講義